



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エスティック
コード番号 6161 URL <http://www.estic.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 弘
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 伊勢嶋 勇

TEL 06-6993-8855

四半期報告書提出予定日 平成28年11月4日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年3月21日～平成28年9月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	2,192	25.7	540	95.4	503	63.3	341	74.4
28年3月期第2四半期	1,743	—	276	—	308	—	196	—

(注)包括利益 29年3月期第2四半期 290百万円 (43.9%) 28年3月期第2四半期 201百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	251.39	—
28年3月期第2四半期	144.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	4,925	4,307	87.3
28年3月期	4,792	4,112	85.6

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 4,301百万円 28年3月期 4,101百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	85.00	85.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年3月21日～平成29年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	11.9	872	35.9	843	21.3	567	23.7	417.03

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)会計基準等の改正に伴う会計方針の変更の詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	1,471,000 株	28年3月期	1,471,000 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	111,418 株	28年3月期	111,352 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	1,359,610 株	28年3月期2Q	1,359,700 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成28年11月2日にアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、GDPが連続プラス成長で推移し、緩やかながらも景気の改善が進んでまいりましたが、為替が年初来円高に進行し輸出企業を中心に企業収益の下振れが懸念され、景況感の悪化により設備投資計画判断がより慎重になるなど先行き不透明感が継続しております。

世界経済は、米国経済はインフレ率が低水準で推移し利上げも見送られておりますが、雇用の改善や賃金の上昇などもあり緩やかな拡大基調で推移してまいりました。

中国経済は公共投資による下支えや、さらなる景気対策も見込まれ消費も底堅く推移していますが、設備投資の減速など経済全体では弱含みな状況が継続しております。

このような状況のなか、当社主力販売先である自動車産業界における設備投資の状況につきましては、国内市場では年明け以降の円高推移から今後の設備投資判断が慎重になりつつも、各社堅調な企業業績や緩やかながらも景気回復基調を背景に、工具、機械設備ともに積極的な設備投資姿勢が継続しており、当社製品ではハンドナットランナを筆頭に前年を上回り堅調な販売実績で推移してまいりました。

また海外市場では、韓国市場での販売高が前年比で減少しましたが、米国、中国市場においてハンドナットランナの販売が前年比で大きく増加するなど全体では堅調に推移してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高2,192百万円(前年同四半期比25.7%増)、営業利益540百万円(前年同四半期比95.4%増)、経常利益503百万円(前年同四半期比63.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益341百万円(前年同四半期比74.4%増)となりました。

なお、当社製品は、ネジ締付装置、同部品及びネジ締付工具でありますので、単一セグメントとして市場環境を判断しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は、4,925百万円と前連結会計年度末比133百万円の増加となりました。増減の主な内訳は、受取手形及び売掛金が291百万円増加した一方、仕掛品が142百万円減少したためであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、618百万円と前連結会計年度末比61百万円の減少となりました。増減の主な内訳は、買掛金が33百万円減少したためであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、4,307百万円と前連結会計年度末比194百万円の増加となりました。増減の主な内訳は利益剰余金が246百万円増加した一方、為替換算調整勘定が47百万円減少したためであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、580百万円となり、前連結会計年度末に比べて38百万円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フロー別の状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは170百万円の収入(前年同四半期は55百万円の支出)となりました。

これは主に、売上債権の増加額309百万円などの減少要因があった一方、税金等調整前四半期純利益503百万円などの増加要因があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは81百万円の支出(前年同四半期は52百万円の支出)となりました。

これは主に、定期預金の払戻による収入40百万円の増加要因があった一方、定期預金の預入による支出40百万円、有形固定資産の取得による支出50百万円、無形固定資産の取得による支出26百万円などの減少要因があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは95百万円の支出(前年同四半期は74百万円の支出)となりました。

これは主に、配当金の支払額95百万円などの減少要因があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期通期連結業績予想に関する事項につきましては、平成28年10月24日に「業績予想の修正に関するお知らせ」により公表した数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	671,578	632,497
受取手形及び売掛金	1,161,715	1,453,476
商品及び製品	264,413	246,771
仕掛品	243,432	101,119
原材料	497,005	583,832
繰延税金資産	83,086	82,508
その他	74,374	51,176
貸倒引当金	△4,033	△8,130
流動資産合計	2,991,573	3,143,251
固定資産		
有形固定資産		
土地	829,603	829,603
その他(純額)	534,577	534,976
有形固定資産合計	1,364,181	1,364,579
無形固定資産		
投資その他の資産	35,643	33,326
繰延税金資産		
繰延税金資産	40,990	42,369
その他	360,517	342,834
貸倒引当金	△800	△800
投資その他の資産合計	400,707	384,403
固定資産合計	1,800,533	1,782,309
資産合計	4,792,106	4,925,561

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	181,401	147,518
未払法人税等	157,900	165,602
賞与引当金	37,567	42,152
役員賞与引当金	-	10,000
その他	155,225	94,661
流動負債合計	532,093	459,933
固定負債		
退職給付に係る負債	141,256	152,982
その他	6,188	5,230
固定負債合計	147,444	158,212
負債合計	679,537	618,146
純資産の部		
株主資本		
資本金	557,000	557,000
資本剰余金	639,750	639,750
利益剰余金	3,076,500	3,323,123
自己株式	△217,815	△217,989
株主資本合計	4,055,435	4,301,883
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,519	12,124
為替換算調整勘定	34,145	△12,996
その他の包括利益累計額合計	45,665	△872
非支配株主持分	11,468	6,403
純資産合計	4,112,568	4,307,414
負債純資産合計	4,792,106	4,925,561

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月21日 至平成27年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月21日 至平成28年9月20日)
売上高	1,743,450	2,192,084
売上原価	1,105,917	1,277,813
売上総利益	637,532	914,271
販売費及び一般管理費	360,711	373,417
営業利益	276,820	540,854
営業外収益		
受取利息	1,309	60
受取配当金	1,184	1,671
為替差益	4,102	-
デリバティブ償還益	2,120	-
持分法による投資利益	22,057	8,090
その他	1,107	1,151
営業外収益合計	31,881	10,973
営業外費用		
為替差損	-	47,833
雑損失	143	-
営業外費用合計	143	47,833
経常利益	308,559	503,994
税金等調整前四半期純利益	308,559	503,994
法人税、住民税及び事業税	96,294	167,007
法人税等調整額	15,611	△1,100
法人税等合計	111,905	165,906
四半期純利益	196,653	338,087
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	624	△3,711
親会社株主に帰属する四半期純利益	196,028	341,798

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月21日 至平成27年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月21日 至平成28年9月20日)
四半期純利益	196,653	338,087
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	311	604
為替換算調整勘定	1,500	△17,485
持分法適用会社に対する持分相当額	3,219	△31,010
その他の包括利益合計	5,030	△47,891
四半期包括利益	201,684	290,195
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	201,124	295,260
非支配株主に係る四半期包括利益	559	△5,064

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月21日 至平成27年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月21日 至平成28年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	308,559	503,994
減価償却費	20,661	40,886
貸倒引当金の増減額(△は減少)	671	4,097
受取利息及び受取配当金	△2,494	△1,731
為替差損益(△は益)	△1,829	3,399
持分法による投資損益(△は益)	△22,057	△8,090
デリバティブ償還損益(△は益)	△2,120	-
売上債権の増減額(△は増加)	△37,113	△309,660
たな卸資産の増減額(△は増加)	△101,509	68,426
仕入債務の増減額(△は減少)	10,475	△33,882
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,886	4,585
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	10,000	10,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10,744	11,726
未収消費税等の増減額(△は増加)	△20,506	59,487
その他	△80,473	△26,129
小計	100,894	327,109
利息及び配当金の受取額	3,333	1,732
法人税等の支払額	△159,797	△158,782
営業活動によるキャッシュ・フロー	△55,569	170,059
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△40,004	△40,002
定期預金の払戻による収入	40,000	40,000
有形固定資産の取得による支出	△147,008	△50,120
無形固定資産の取得による支出	△1,011	△26,848
投資有価証券の取得による支出	△2,244	△3,069
投資有価証券の償還による収入	100,000	-
その他	△2,208	△1,940
投資活動によるキャッシュ・フロー	△52,477	△81,981
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	-	△174
配当金の支払額	△74,797	△95,091
財務活動によるキャッシュ・フロー	△74,797	△95,265
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,312	△31,808
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△178,531	△38,996
現金及び現金同等物の期首残高	888,367	619,878
現金及び現金同等物の四半期末残高	709,836	580,882

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。